

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 しあわせ駅 読谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6		1		密にならないよう室内外で遊ぶ工夫を行っている。今後も工夫を重ね、児童が過ごしやすいスペースを確保していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	6		1		配置基準は満たしているが、休みが重なったり、急な休みが出た場合でも対応しやすい人数を確保する必要があるので、改善を図ってきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている			7	スタッフが抱えたり等、細心の 注意をはらいながら、支援を工 夫している。	スロープを設置するなど 改善を図ってきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6		1	ミーティングを通して 改善している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	7			意向を配慮し改善に 繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	1		ホームページで 公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	1	2		現在改善中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	2			コロナの影響により今年度は多くはないが、 少人数の研修に参加をしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7			ニーズや課題を明確にし計画を 作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6	1		アセスメントシートを使用し全職 員が把握できるよう共有してい る。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7			月で回数や担当を決め交代制 で行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	7			担当も固定化せず、順番でまわ している。なのでプログラムも 様々な活動を取り入れることが できている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	2		ミーティングを通して 課題を皆で共有し 設定されている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6	1		子供に応じて様々な活動を取り 入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	2		打ち合わせを行い 確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	3	1	その都度話すようにし 共有を行っている。	時間上みんなで行うことが厳しい時には 次の日に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			日々記録を取り 改善に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	6	1		モニタリングを通して 見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	5	2		ガイドラインの総則を参考にし ているが、さらに見直し、支援の 改善を図ってきたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			送迎の際に情報共有 学校行事の確認等を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4			現状受け入れがない為、その際には連絡体制を整えたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		子供の状況に応じて行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2	1		現在、卒業して移行する児童がいないが、今後その状況に応じた場合は情報提供していきたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	1		専門機関との連携は中々ない為今後連携していきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	5		新型コロナウイルスが収束した際には交流を増やしていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	4		新型コロナウイルスが収束した際には交流を増やしていきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に情報共有して共通理解を図っている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	3	研修案内があった際には保護者様に案内している。	今後も、どのような支援が行なえるか考えていきたい。
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		契約時に行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎時やモニタリングを通して行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	4		今年度はできていない為 新型コロナウイルスが収束した際には交流を増やしていきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		その都度職員間で周知徹底を行い迅速に対応を行っている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		月に一回のお便りを配布し写真を掲載して活動の様子を伝えている。	
	35 個人情報に十分注意している	7			注意して保管している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		配慮を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	5		今年度はできていない為 新型コロナウイルスが収束した際には交流を増やしていきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			緊急時の対応が見える位置に掲示している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		年に二回実施 時々消防と連携している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	2	ミーティングを通して 確認している。	回数が少ないので 今後多く取り入れていきたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2			身体拘束を行わないといけない 状況になる児童さんが現在いないが 今後その場合には計画書に記載していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			アレルギーを持つ児童を把握し グルテンフリーのお菓子を手作りして提供している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		その都度作成し次に同じことが 起きないように スタッフ間で徹底している。	